

団体名	特定非営利活動法人 sketch 倶楽部	ステップ	介護・認知症の家族と歩む会・白井	しろいワクワクひろば	白井健康元気村
補助金の種類	活動促進型（採択額7万円）	活動発展型（採択額20万円）	活動発展型（採択額10.5万円）	活動発展型（採択額11.5万円）	活動発展型（採択額19.5万円）
事業概要	<p>【事業名】 食未来まちづくりプロジェクト</p> <p>【事業目的】 農業従事者や飲食事業者の悩みや課題や将来展望、一方で白井市民のニーズや知りたいことを相互共有する場づくりをおこない、人と人をつなぐことで地域コミュニティの醸成による地域活性化をはかる。</p> <p>【内容】 1. ゲストスピーカー（大学教授等）による基調講演 2. 農業従事者または飲食業事業者からの問題提起 3. 参加者全員でのディスカッション</p>	<p>【事業名】 学習支援ステップ</p> <p>【事業目的】 主に子どもの貧困対策としての学習支援</p> <p>【内容】 市内の中学生を対象に週2回、それぞれ実質2時間以上を確保して、白井駅前センターにて、個別に学習指導を行う。</p>	<p>【事業名】 認知症本人と在宅介護家族の笑顔の日常生活確保</p> <p>【事業目的】 認知症本人と在宅で介護をする家族が「笑顔で安心して過ごせる日常」が目的。</p> <p>【内容】 講座・相談会・交流会・訪問相談随時行う。ちょっと役に立つお知らせ・講座内容DVDなど各種配布。</p>	<p>【事業名】 多世代・多文化交流型 子ども農園・子ども食堂事業</p> <p>【事業目的】 地域の畑を活用して野菜や芋などの栽培、収穫作業、収穫物を利用した食品の配布、食事会、花植え作業等を通じて、地域の子供から高齢者までの交流や親睦を深め、地域福祉の増進（若い世代の子育て応援や高齢者の閉じこもり予防など）を図る。</p> <p>【内容】 月1回の野菜や芋などの苗植えや収穫、収穫した作物を利用した料理教室や子ども食堂、食材・お菓子などの配布等を通じて、地域の子供や若者と大人たちとの関わりのきっかけを作り、相互の交流を通じて、若い世代の子育てを応援するとともに、子どもたちや若者の健やかな育ちを見守り、高齢者の閉じこもり予防を図っていく。</p>	<p>【事業名】 高齢者の健康寿命・元気寿命延伸の為に教室の開設及び広報の実施</p> <p>【事業目的】 「健康教室」の開設により健康管理能力を高める。 「終活教室」の開設により終末期の生活設計能力を高める。</p> <p>【内容】 「健康教室」「終活教室」の実施</p>
補助事業の進捗事業について、計画通りに事業は進んでいるか	<p>予定通り6月16日（木）白井市役所東庁舎1階多目的ホールにて、第3回「食」未来まちづくりプロジェクトを開催済。</p> <p>11月17日（木）白井市役所東庁舎1階多目的ホールにて、第4回「食」未来まちづくりプロジェクトを開催予定です。</p>	<p>当初の予定通り毎週火・金の2回講習を開いている。9月末日までに45回開催。</p> <p>延べ参加者/延べ在籍者=373/440</p> <p>参加率は0.84</p> <p>予定通り毎週火・金の講習会を開催する。</p>	<p>講座は進められているが、交流会・相談会がコロナの影響もあり参加者が少なくなっています。</p> <p>相談の機会を訪問・電話・DVD配布等に加えて、リモートでの相談会・講座を積極的に取り入れる。ミニマルシェを開催し来場者への活動PR・ミニ相談などを推進していきます。ショッピングモールなどに提案中です。</p>	<p>子ども農園については、計画通り種まき、苗植え、収穫等を実施している。農業ボランティアの協力が大きい。</p> <p>子ども食堂事業については、コロナ禍により、手作り弁当や食材、お菓子等の配布に変更している。</p> <p>下半期は、感染状況等を見ながら、可能な限り計画通りに実施したい。</p>	<p>終活教室計画通り1回実施。健康教室は3回中2回実施。（1回は講師都合で10月に延期）</p> <p>下半期についても、予定通り実施予定。</p>
補助金の活用状況について計画通りに活用しているか	<p>報償費、使用料・賃借料、その他予定通り活用しております。</p>	<p>会場費、教材費（教科書等）、事務用品費（用紙、インク等）、講師料（大学生に対して支給）、交通費として順調に支出している。</p>	<p>大いに活用させて頂いています。講座等の広報活動・チラシ配布・ハガキ・切手等の購入に使わせて頂いています。</p>	<p>子ども農園事業は消耗品費、検査料、保険料等計画通り執行できている。</p> <p>子ども食堂事業が計画通り実施できていないため、食材費が活用できていない。</p> <p>下半期は、感染予防対策をしできる限り計画通り実施する。</p>	<p>延期の計画通り執行できている。</p> <p>下半期も予定通り活用する。</p>

<p>市民活動推進委員からの 審査コメント</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO 法人として、新しい視点で地域活性化に取り組む良い活動だと思います。 ・一過性のイベント開催にとどまることなく、効果が地域に波及するよう取り組んでください。 ・事業評価を大事に活動を進めるとともに、アウトプット（結果）やアウトカム（成果）の明確化が図られるよう期待します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根差しながら市民の寄付やボランティアを得て、着実に事業を継続しており評価します。 ・指導者（学生含む）の研修をしっかり行い、トラブル等なく効果的な学習支援事業となるようにしていただければと思います。 ・子どもにとって継続していくことが望まれる取り組みであり、これまでの知見等をいかして、市事業（今秋開講予定）との協働による支援継続に期待します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において、より深刻化が懸念される認知症について、地道に活動を継続し評価します。 ・コロナ対策に留意しつつ、より効果的で多くの市民が本事業に参加できるような工夫をお願いします。 ・DVD だけでなく新たな広報媒体（ウェブ、YouTube など）にもチャレンジするなど、より多くの人々への発信を実現していただきただければと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他地域や全国的にもモデルになるような素晴らしい事業と評価します。多世代・多文化交流も進んでいます。 ・次年度以降の事業継続に向けて、民間助成金や寄付等のファンドレイジング（資金調達）にも期待します。 ・収穫と植え付けを同時に行い、参加者を募る工夫を継続させる他、市の特産品でもある梨を使った取組や、法人格の取得なども期待します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者自身の当事者による学び、交流の取り組みであり公園清掃や会費による自主財源確保も評価します。 ・申請の内容について、一部誤記等がありました。より市民に分かりやすいものとなるよう改善を期待します。 ・事業実施を通じて若手世代の参加や他団体からの支援等を得て、団体の継続にもつながるよう取り組んでいってください。
<p>対応について</p>	<p>一過性のイベント開催にとどまることなく、効果が地域に波及するようにとのご指摘、まさに当団体が望んでいる部分です。しかし地域への効果波及の取り組みは1法人だけがおこなえば良いのではなく、また1法人だけの活動だと限界があるため、公民連携して協働でおこなうのが望ましいと考えます。今回の補助事業に関していえば、あらたに産業振興課とも連携をはかり、取り組んでいくことが進化と考えます。</p> <p>ご指摘いただいた地域への効果波及については積極的に取り組む所存ですので、ぜひ関連部署とのおつなぎをお願い申し上げます。</p> <p>アウトプット（結果）やアウトカム（成果）の明確化については、参加者の声および運営者の総括をまとめて次回に反映しています。</p>	<p>市事業との協働に関しては、市からの公式の情報提供がないので何とも言いようがありません。</p>	<p>講座・交流会への参加者を通じてチラシの手配りを続けていきます。</p> <p>他の団体サークルとの共催や他団体のイベントに積極的に参加し情報の共有や我々の活動のPRに努めます。</p> <p>健康に関する(薬草・野草など)健康情報の発信も行い、日常生活視点での交流を目指します。</p> <p>積極的にリモートへの参加、認知症の家族の在り方の発信をします。</p> <p>ミニマルシェ(参加型フリーマーケット)など積極的に提案、参加を呼びかけます。</p>	<p>今年度も新しい外国籍の方が親子で参加されたり、市内の高校生がボランティアで体験として協力してくださっています。</p> <p>民間助成金（千葉県社会福祉協議会、コープみらい）の情報収集に努めているところです。</p> <p>地域の梨農家さんから梨のご寄付をいただき、参加者へ配布予定です。（10月）</p> <p>法人格の取得については、情報収集していきます。</p>	<p>若手の参加 上半期に教室等を通じて4名の若手が入村した。</p>
<p>団体活動の活性化と自立の課題について</p>	<p>団体活動の活性化に重要なのは公民連携と考えています。</p> <p>地域課題の解決を図り、市民主体のまちづくりと活力ある地域社会の実現を目指すため、市民団体はもっと自治体と連携しなければならないと考えています。</p> <p>自立の課題は、資金面の支援を自治体がおこなっていただけるのは大変ありがたいです。さらに市民団体全般で考えると、公益活動促進支援としてアドバイザーによる伴走があると活動の活性化につながると考えます。</p>	<p>市からの補助金が今回で終わるので、来年度以降の運営資金の充足に不安がある。</p>	<p>リモート・ミニマルシェ等に若い世代ほか地域住民との輪が広げられる～人材の確保。</p> <p>参加者の確保には交流会・相談会などの日時と会場の固定化～ショッピングモール交渉中。</p> <p>最大の課題は活動資金になります。当面は行政からの助成金を中心になりますが、目指すは民間からの協賛金もしくはビジネスモデルの採用の検討が必要になります。</p>	<p>団体活動の自立に向けては、資金が必要と考えますので、バザーの実施や寄付金の募集などにより、収入を得る努力をしていきたいと考えています。</p> <p>今年度に新たにボランティアとして協力してくださる方が増えましたので、活動を継続していただけるよう、楽しく和やかで参加しやすい雰囲気づくりに努めていきたいと思っています。</p>	<p>補助金を得て概ね順調に活動を推進しております。</p>
<p>今後の展望について</p>	<p>「食」未来まちづくりプロジェクトは基幹活動として継続します。</p> <p>さらにNPO 法人として3年目を迎える令和5年度は、さらなる公益活動の活性化（活動の拡大）を予定しています。</p>	<p>上記のように資金面での不安があり、市に対しては新たな補助金の仕組みを考えていただけるように願っています。</p>	<p>周辺地域の日常生活に関わるあらゆる分野の団体との連携を模索して行きます。</p>	<p>令和5年度も、民間補助金の申請をして、事業を継続して実施していきたいと考えています。</p>	<p>さらに一層若手の入村を募りたい。</p>